

★基本目標：Ⅱ感動と活力に満ちた競技スポーツ

推進項目	計画(PPLAN)		行動(DO)	評価(CHECK)	改善(ACTION)
	令和2年度事業(予算額)	事業内容及び課題等	当該年度事業の現況	事務局(スポ課の考え方)	令和3年度事業実施に向けて
(1) トップアスリートの育成・強化の推進	○白崎資金スポーツ指導者養成委託料(680千円) 前年比:80千円 減	・トップアスリートを育成できる指導者の養成と選手の育成。 ・全国に通用するトップアスリートを育成するためには、中学校や高校におけるスポーツ環境の整備及び選手の育成・強化が課題となっている。	・ソフトテニス連盟と協働で指導者講習会を実施予定(3/13) ・他1回の講習会は、新型コロナウイルスの影響により中止	・新型コロナウイルス感染症の影響もあったが、もっと早期に講演会開催に向けた取り組み方等について委託先である市体育協会と意見交換をすべきであった。 ・withコロナを考慮して、今後はリモート講習会も視野に入れて検討していく必要がある。	・スポーツ団体(スポ少本部、総合型地域スポーツクラブ等)と合同の講演会・研修会(市民参加型)の開催に向けて検討していく。 ・令和4年度以降の事業の実施手法について、委託先である市体育協会と意見交換をしていく。
	○県駅伝酒田飽海実行委員会負担金(1,000千円) 前年比:同額	・近年は優勝チームとのタイム差も大きく、高校生・大学生など若い世代の競技力向上が喫緊の課題となっている。 ・選手強化の一環で、他の陸上大会に出場していることから、強化費のあり方について検討が必要。 ・山形新聞社が主催する大会であり、参加の是非や事務局のあり方について検討が必要。	・新型コロナウイルスの影響により大会中止。 ・来年度大会に向けて、チームとしての強化練習会は継続実施している。	・企業協賛金や個人からの寄付金等、財源確保が毎年厳しくなっている中で、チーム強化費も含めて、本来、市で支援すべき必要経費の見極めをすべき時期にあると考える。	・令和3年度は新型コロナウイルスの影響により、企業等からの協賛金が大幅に減少すると思われるため、強化費の支出等、見直しを図りながら、令和2年度同様の支援をしていく。
	○県ジュニア駅伝酒田市実行委員会負担金(予算措置無) 前年比:500千円 減	・山形県が主催しており、8月の第1週日曜日に開催されている。 ・日程がスポ少や部活動等の大会と重複し、児童生徒に参加依頼をしても断られることが多く選手の確保が課題となっている。	・東京2020オリパラ開催が延期になったが、R2年度は中止。	・来年度も大会中止が決定している。大会参加方法等、関係団体と意見交換をしていきたい。	・東京2020オリパラ開催が延期になったため、R3年度も中止が決定している。 ・例年は大会前日に現地に宿泊のうえ参加していたが、コロナ禍で小中学生の宿泊参加は厳しいと考える。参加方法等、関係団体(小体連、中体連、陸協)と意見交換をしていきたい。
	○酒田市体育協会事業補助金(12,211千円) 前年比:同額 ◆関連目標:Ⅱ感動と活力に満ちた競技スポーツ (2)競技スポーツに対する推進体制の充実 (3)トップレベルのスポーツに触れる機会の創出	・競技団体の育成強化、スポーツ指導者の育成・資質向上、スポーツ教室開催等による競技者の拡大・普及 ・アスリートの育成、強化 ・各競技団体との連携 ・全国大会、東北大会をはじめ、実業団大会等の誘致	・新型コロナウイルスの影響により6月開催までの各種大会が中止となった。 ・秋以降は、各競技団体のガイドラインを遵守した形で地区・県大会レベルの競技大会は開催されるようになった。	・各競技における上部団体ガイドラインを基に、新型コロナウイルス感染症対策を万全にして、安全安心な大会運営ができるよう支援をしていく。 ・特に各競技団体へ交付している強化費の取り扱いについては、事業実施内容の詳細や支出状況まで把握するよう市体育協会へ強く要請していく。	・新型コロナウイルスの影響もあり、東北・全国規模の大会開催については不透明な部分があるが、アスリート育成などの競技力向上及び指導者養成はR3年度も必須である。 ・コロナ禍だからこそ、スポーツ・運動をする大切さを市民へ呼びかけ、スポーツ実施率を向上させる役割を担ってもらうよう支援していく。
(2) 競技スポーツに対する推進体制の充実	○スポーツ振興激励金交付事業(2,622千円) 前年比:563千円 減	・地区予選を勝ち抜いた選手で、小学生は県大会以上、中学生は東北大会以上、高校生以上は全国大会に出場する場合に激励金を、また、全国高等学校野球選手権大会等に出場する市内の高等学校に対して奨励金を、激励と表彰の意味を込めて贈呈する。	・R2交付実績(R3.2.10現在) 全国 18人 東北 1人 計 19人(253人減)	・新型コロナウイルス感染症の影響により全国大会、東北大会規模の各種大会が中止となっている状況で、激励金交付額も大きく減額となった。 ・激励金交付要綱等をHP等で周知するとともに、体育協会評議員会や市召集校長会を通じてPRを行った。	・激励金の交付は、低年齢におけるトップアスリートの発掘やアスリートの活躍に繋がっている。R2年度同様、全国大会及び東北大会へ出場する選手に対して激励金を交付していく。
	○白崎資金スポーツ優秀選手表彰(347千円) 前年比:67千円 増	・経費削減及び事務軽減の観点から、白崎資金表彰と市体育協会表彰の合同開催をR2年度から、統合をR3年度から実施予定。	・新型コロナウイルスの影響により、全国、東北規模の各種大会が中止となっている状況で、表彰対象者が激減した。 ・R2表彰対象者 19名(全て小学生)	・全国、東北規模の各種大会が平準的に開催されるまで、表彰統合については、当面の間見送る方向で考えている。	・R3年度からの統合に向けて、体育協会と協議を重ねてきたが、新型コロナウイルスが収束するまで現行のまま事業実施する(表彰人数が少ない場合は合同で表彰式を実施予定)。
	○体育大会負担金(1,160千円) 前年比:40千円 減	・体育協会加盟競技団体及び市民に、広くスポーツの実践の機会を与え、市民の健康維持増進とスポーツの普及振興並びに競技力向上を図る目的で開催している大会。	・令和2年度大会は新型コロナウイルスの影響により中止	・各競技大会の数が増えていることから、体育大会の在り方を含め、事業の継続・廃止について市体育協会と協議を進めていく。	・各競技における上部団体ガイドラインを基に、新型コロナウイルス感染症対策を万全にして安全安心な大会運営ができるよう支援をしていく。 ・競技団体にも一定程度の開催経費負担(金銭的負担)をお願いしながら、市体育大会の在り方(事業スクラップ:各競技団体へ移行など)について検討していく必要がある。 ・市負担金としての予算措置はしない方向で検討を進めていく。
	※スポーツ振興総務管理事業 ○山形県体育協会負担金(236千円) 前年比:同額 ○山形県スポーツ振興21世紀協会負担金(1,065千円) 前年比:同額 (※モンテディオ山形への支援)	・市町村応援デーの積極的な周知によるトップレベルの競技観戦。	・モンテディオ山形の市町村応援デーについては、市広報等でPRを図っている。	・公益財団法人の活動とはいえ、1競技(サッカー:モンテディオ山形)に特化した支援であるため、負担金のあり方(額)について再考していくことが必要。	・ホームゲームの開催については、今までどおり市広報やSNS等で周知を図る。 ・施設使用料については、モンテディオは全額負担。アランマーレは、国体記念体育館の使用料(冷暖房費含む)は全額免除としている。 ・一企業スポーツである以上、自助努力を基本とした活動としながらも、状況に応じて一定の支援をしていく。
○アランマーレ後援会会費(30千円) 前年比:同額	・地元企業チームとの連携によるジュニア選手の育成、トップレベルの競技観戦	・後援会会費として支援(10,000円×3口)	・後援会組織に対する支援は継続していくべきと考える。	・R2年度同様とする。	

★基本目標：II 感動と活力に満ちた競技スポーツ

推進項目	計画 (PLAN)		行動 (DO)	評価 (CHECK)	改善 (ACTION)
	令和2年度事業 (予算額)	事業内容及び課題等	当該年度事業の現況	事務局 (スポ課の考え方)	令和3年度事業実施に向けて
(3) トップレベルのスポーツに触れる機会の創出	<b>○みなと酒田トライアスロンおしんレース実行委員会負担金 (1,309千円)</b> 前年比: 同額 ◆関連目標: III スポーツによる賑わいとまちづくり (1) スポーツツーリズムの推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全国各地より約400名のトライアスリートが出場し、地元からも約600名のボランティアの協力により開催される大会。大会運営費の確保、大会運営体制に苦慮している。</li> <li>・R2年度から大会への支援(スタンス)が「補助金」から「負担金」となり、今後も市が『共催』として支援していくことに決定。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルスの影響により大会中止。</li> <li>・2020東京オリパラ延期により、ニュージーランドのトライアスロンチームの酒田市での事前キャンプも延期(2021年)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・来年度も大会中止が決定している。大会運営への関わり方について、関係団体と意見交換をしていきたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・R3年度も中止が決定している。</li> <li>・2020東京オリパラ延期に伴い、延期となったニュージーランドのトライアスロンチームの酒田市での事前キャンプの受入に向けて、交流観光課と連携し万全な体制で臨む。</li> </ul>
	<b>○全庄内スキー選手権大会補助金 (727千円)</b> 前年比: 同額	<ul style="list-style-type: none"> <li>・青少年の健全育成をはじめ、冬季スポーツ振興の一環として開催しているもので、令和2年度で74回を数える歴史ある大会。</li> <li>・参加者の減少、使用機械の経年劣化なども含めて大会運営体制に苦慮している。</li> <li>・一競技大会であるため、市の補助金が無ければ開催できないというスタンスを是正したい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルスの影響により大会中止。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・冬季のスポーツ振興を考えれば継続支援していくべきだが、実行委への補助金割合を是正していくべきと考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和2年度同様、冬季スポーツ振興を支える大会として継続支援していく方向だが、実行委員会でも運営できなくなった場合は、開催しない方向。</li> </ul>
	<b>○東北総合体育大会</b> <b>・バレーボール競技補助金 (214千円)</b> <b>・相撲競技 (280千円)</b> <b>○酒田市武道団体協議会演武会補助金 (100千円)</b> ▽アランマーレやモンテディオ山形の地元開催試合の情報発信	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東北総合体育大会(ミニ国体)の開催に対する補助金。R1年度の東北大会は山形県を中心とするもの。</li> <li>・酒田市武道団体協議会演武会は5年に1度の開催。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東北総合体育大会(ミニ国体)、武道団体協議会演武会※とも新型コロナウイルスの影響により大会中止。</li> </ul> <p>※柔道、剣道、弓道、少林寺拳法、空手道、躰道、合気道の7競技。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各競技における上部団体ガイドラインを基に、新型コロナウイルス感染症対策を万全にして安全安心な大会運営ができるよう支援をしていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・R3年度は、東北総合体育大会(相撲)、全日本シニア・マスターズ体操競技選手権大会、武道団体協議会演武会の開催が予定されている。</li> <li>・本市を会場に開催される高レベルの競技大会、スポーツイベントの開催情報を広く市民へ周知を図る。</li> </ul>

目標数値について

・団体競技と個人競技で出場人数が異なるため、成果を人数の増減で図ることができないと考え、種目数とするもの。

**【目標数値】**

国民体育大会への出場種目数 ⇒ 20種目以上 (R01: 20種目)  
 (H31: 19種目)